



茗溪 かながわ

MEIKI KANAGAWA

NO.11

発行 神奈川茗溪会 (旧 茗溪会神奈川支部) 発行者 矢野正人

平成 29 (2017) 年 9 月

平成二九年度 総会 が 開催されました

七月二十二日(土)、神奈川茗溪会総会が、例年通り
横浜中華街の「ローズホテル横浜」にて開催されました。

今回初めて、役員会が総会の会場で開かれました。総会費用の削減が主な理由です。矢野会長の「こういった形で開催することをご容赦いただきたい」という挨拶から役員会は始まりました。

総会は、清水前会長や櫻井顧問をはじめとする諸先輩への黙祷の後、山崎紀彦氏(s五三教修農)の司会で進められました。

第二号議案 今年度事業計画では、矢野会長の「実のある協議内容に」という総会の運営方針により、行政担当、学校担当、企業担当の副会長から、会員名簿を整備・活用していくなど、同窓の輪を作り広げていくための具体的な行動計画が示されました。



第三号議案 来年度本部代議員六名の選出については、「現有の方々を推薦候補とさせていたきたい」という会長の提案があり、承認されました。

第四号議案 公立学校教員採用試験の新たな支援については、関東地区で連携しあいながら支援態勢を作りあげるという展望のもとに、本部に理解と協力を得ながら茗溪会館で実施したいという提案があり、承認されました。

第五号議案 親睦ゴルフコンペの開催については、ゴルフを通じて交流の輪を広げていきたいという趣旨の提案が大畑会長代行からなされ、承認されました。

懇親会は、「例年の七月第一ではなく第三土曜日に開催することになってしまいました。それでも、例年を上回るほどの参加数となり、この日だったから参加できたとおっしゃる方々もいらっしゃいます。大変うれしく存じます」という矢野会長の挨拶の通り、新たに参加された方々も多く、中野久美子さん(s五七 筑体)の司会で和気藹々と進められました。



「来年は、7月最終土曜の7月28日(土)。総会は11:00 懇親会は13:00 会場はローズホテル横浜で開催いたします」と、大畑氏が閉会の辞で予告しました。

神奈川茗溪会 親睦「ゴルフコンペ」の開催

大畑代行が総会で提案し承認されたゴルフコンペが開催されることとなりました。

開催の案内は以下のような文面で結ばれていました。

「茗溪会会員の親睦を図る目的で・コンペの産声を上げたいと思います。教育界以外の同窓生が一人でも多く参加していただけることを期待しています」

ゴルフを通して同窓生の親睦の輪を広げていく。これは、清水前会長の願いでもありました。開催要項は以下の通りです。

日時 十月三十日(月)
場所 東京カントリー倶楽部
競技 新ペリア方式
費用 一万三千円程度

今回はすでに参加多数により募集は打ち切られています。今後の開催については、コンペ終了後の懇親会で検討し、次回の総会等で案内することです。

幹事

新木 康稔(s四一教体)
大辻 昇(s四二教総農)
大畑 多津雄(s五二教教)

問い合わせ先 大畑多津雄

☎〇九〇 四五四〇 〇六八二

講演会

シネリック医薬品について

中道 徹氏(筑五八生物)



「これまで理系の仕事・文系の仕事と渡り歩いてきましたが」という今回の講師である中道氏の冒頭のご挨拶の通り、現在は弁護士ですが、もともと筑波大生物学類卒ということ。卒業後は理科の教員として教鞭をとっていらつしやいました。それがどうして弁護士となり、しかも渡米して「M留学を果たしているのか、興味のあるところではありません。多彩な能力をお持ちの逸材といえます。いつかご自身の興味関心とその行方についてご講演いただきたいと思うほどです。」

さて、講演です。
「今日は理系のバックグラウンドを生かしたテーマでお話をさせていただきます」と切り出され、「なぜシネリック医薬品が弁

護士と関連するののか」と問われ、「特許」の関係からみた医薬業界の事情について、また日本と諸外国、とくに米国との比較を例に挙げながら講演が進められました。

医薬品は大きく医療用医薬品と一般医薬品に分けられ、さらに一般医薬品が新薬とシネリック医薬品に分けられる。シネリック医薬品とは有効成分が新薬と同じ医薬品である。シネリックの医薬品に占める割合が、アメリカでは八〇%に比して、日本は四〇%が現状である。

新薬づくり(創薬)には治験や臨床試験に時間とお金がかかる。時間にして九から十七年、金額では三百から千億円。それに比してシネリックは一億円ほどで作ることができる。

パワーポイントを使い、わかりやすい図解を駆使した中道氏の解説によって、なるほど、ここに《特許》が登場するわけかと納得がいきました。

新薬ができてすぐシネリック医薬品が販売されると、我々には良いかもしれないが、作る側は新薬を作る気がしなくなるという問題がある。だから新薬の再審査期間及び特許の有効期間中はシネリックを作れないように法律的にはなっている。

しかし問題はそこかららしい。

新薬メーカーにある不満の一つとして、薬事申請期間は新薬を販売できないということがある。

一方、シネリックメーカー側には、有効成分が同じなのだから長い試験期間は不要だという。さらに、こうした中でバイオ医薬品をめぐる問題が加わり、特許が医薬の進歩を阻害しかねない状況となっている・・・講演は核心に近づいていきます。

近年、悪性リンパ腫やリウマチなどに有効とされ注目されているバイオ医薬品は、高分子構造をもつことから、同じ化学物質の薬を作ることが難しいうえに、試験に時間がかかるしお金もかかる。ということで、シネリック医薬品メーカーはバイオ医薬品に関心をもち、むしろ新薬メーカーがシネリックを作っている。

国としてはシネリック医薬品が販売された後に特許紛争が起きるのは好ましくないので、販売の前に広報するよう指導している。だが、バイオ医薬品の場合、関連する特許がたくさんあるの、非常に複雑な話になる。

バイオ医薬品をめぐる特許について新たなアプローチが必要になってくる。この問題をめぐる米国の訴訟について、講師は論文を発表された。今回の講演は、その論文を目にした同窓の要望で実現したものでした。

筑波大生向け 教員採用試験サポート



神奈川の教員採用試験を受験する筑波大生に対して、八月二日終日、二次試験対策を行いました。

今年から茗溪会館で試験対策に取り組んでいきます。学生個々の力量に応じた指導を実現するとともに、茗溪会館を使用することで「茗溪人」を育てるという意図もあります。

参加者は五名。午前に模擬授業、午後には個人面接、受験上の注意を指導・助言して終了しました。すでに、論作文、自己PR書についてメールを介した指導を行ってきており、一次通過後は教授案の指導もしてきました。

こうした支援態勢が神奈川にとどまることなく全国に広がり、教職を目指す筑波大生の支援になればと願います。二次試験の合格発表は十月二日。全員合格を期待してやみません。

大畑多津雄(s五二教数)

厚木地区の会合

愛甲、厚木、海老名の地区の同窓が厚木の街で会合を持ちました。語り合ったのは昨年の総会後の中華料理屋でのことでした。早くも二度目の会合です。会場は、良い&飲み放題で三千元という激安の中華料理屋。

六月三〇日(金)の十八時過ぎからの会合でした。日取りが好すぎたのか悪すぎたのか、店内は満員。ほかの団体に個室を全て先約され、結局テーブル席での会合となりました。新手が加わるたびに、歓声とともに乾杯が繰り返されました。

大学時代の「ちよい悪エピソード」の告白タイムもありました。▽次回は、神工大の「展望レストラン」でやりましょうか。▽他の客はいないし、いいかも。▽三千元なら、豪華な料理が期待できますよ。安上がりという魂胆が基本の集まりであります。



何回目かの乾杯！ 平日の開催なので、仕事終わりに駆けつける同窓もあり、そのたびに乾杯が交わされました。

同窓生の集い 桐心会

三月十一日(土)、茗溪会体育の同窓が集う「桐心会」の総会と懇親会が開催されました。

会場は大和市の北京飯店で、三十名の会員にご出席いただきました。懇親会では、落信久会長の挨拶の後、宮原孝雄氏(s三〇教体)に乾杯のご発声をお願いいたしました。宮原先輩には、毎年後輩に檄を飛ばしていただき感謝しております。

筑波大学の現役諸君の活躍をお知らせします。

昨年十一月、男子バスケットボール部が全日本大学バスケットボール選手権大会で三年連続の優勝を成し遂げました。

十二月、サッカー部も全日本大学サッカー選手権大会で、十三年ぶり九回目の優勝を果たしています。

そして、現在、箱根駅伝復活プロジェクトが進められていることをご存じでしょうか。

弘山勉監督の指導の下、部員一同頑張っています。近い将来、桐の葉を胸に母校の選手が再び箱根路を走る姿を見ることができるとも思いません。

大学の後輩の活躍を期待しながらお酒を酌み交わし、語る体



育の仲間、先輩から後輩へ茗溪の心は固く受け継がれていきます。

各テーブル毎に、近況報告をした後、最後は全員で円陣、肩を組み、宣揚歌「桐の葉」を声高らかに謳いあげました。

大石進 (s五六教体)

サークル活動の思い出 剣道部

幸田 隆 s六二筑体

「トップの大学で剣道をやりたい」「全国トップの人たちと剣を交えて自分がどこまでできるかチャレンジしてみたい」そんな思いを高校時代に持っていた私は、高校二年の秋に日本武道館へ剣道部の同僚と学生剣道優勝大会を見学に行きました。当時私は、日体大や法政大の先輩たちによく稽古をつけていただいていたので、それらの大学を応援しながら他の大学の試合や応援も見えて、自分が進みたい大学を探すことにしていました。

その日は日体大がベスト十六で敗れましたが、法政大が決勝に進出し、対戦相手が筑波大学と決まりました。「始め」とともに会場中が一斉に輝くライトに

らされ、選手紹介のアナウンスとともに試合が開始されました。経験したことのない雰囲気、圧迫されたことを覚えていません。試合は前半から法政大学が強さを見せ付け、中堅戦まで大きくリードしていました。ところがその後、筑波大学が副将戦までに一敗二本差まで追いつき、大将が二本勝ちをおさめて代表戦となり、再度大将が出場し相手選手を見事に破り逆転優勝しました。この劇的な優勝によって筑波大学の強さを目の当たりにした私は、その時に筑波大学に進学することを決意しました。

大学入学後は自分の未熟さを痛感する毎日が続きました。受験勉強をしている頃は心のどこかで「筑波大学だから剣道部も科学的な指導がされているのでは」などと夢見ることもありましたが、そんなものは微塵もないことを入学前の春合宿で思い知らされました。普段の稽古は2時間弱でしたが、その時間を必死に過ごすために他の時間をどのように立ち回った方がよいか、いつも考えて行動していた気がします。

幸いにも、私は新人戦や関東学生の選手に選考いただいたり、全日本学生にも出場することができました。



卒業30年ぶりの稽古会

でも今になって思うのは、そんなことよりは、四年間同じ釜の飯を食って同じ思いや願いを持って必死に取り組んだ同級生たちが、今も全国各地で頑張っており、それに私も負けられないと今も思っている、そんな同級生と巡り合えたことが一生の財産になったと感じています。

同級生の会は剣龍会と名付けられ、卒業後五年ごとに全国各地で稽古会と懇親会を行うこととなっています。今年一月には、三十年ぶりに筑波の地に十七名が集いました。また、五年後には大学四年の時に夏合宿を行ったここ神奈川県に集うこととなっています。こうした仲間と今後も切磋琢磨することが私の生きがいになっています。

会員の皆様より

今年も総会の案内に多数のご返信をいただきました。ありがとうございます。頂戴したお葉書の中から、会員の皆様の声を紹介させていただきます。

▼今年十二月、九十七歳になります
が、元気で過ごしております。

(雨宮清 S 19 高師理)

▼本年十月で八十五歳になりますが、元気で年七回の講演(中国史中心)をやっています。体も健康で月二回のゴルフをやっています。

(小宮悳 S 33 教大院東洋史)

▼間もなく八十路も半ばを迎えますが、男声合唱と句会が楽しみです。諸国一之宮巡りを達成しました。

(梅沢康信 S 33 教大・文・哲)

▼地域ボランティア活動、高齢者健康運動指導、ジョギング、マラソン、水泳、ハーモニカ、尺八など、充実した日々を過ごしています。

(高見澤隆 S 37 教大体)

▼総会当日は前期最終授業。四まわり近く年の差のある学生から鋭気をもらい、楽しくやっています。

(榎本里志 S 49 教大応数)

▼田園調布学園で副教頭を努める傍ら、気象予報士として、子供向けのお天気教室などもしています。

(荒川(旧姓早川)知子 S 57 筑波修理士)

平成二九年度茗溪会 追悼のつどい

九月二日 茗荷谷の茗溪会館にて、「平成二九年度茗溪会追悼のつどい」が行われました。神奈川より、清水前会長の奥様とご子息が出席され、全国の茗溪の仲間とともに追悼式に臨まれました。

清水前会長は、数年前から週に一度、茗荷谷で全国組織のためのお手伝いをされておられました。何事もなければ、昨年からは本部署で業務本腰を入れる手筈だったと伺っています。本場に根っからの「茗溪人」で、茗溪会を大切にされていたのだなど、今更ながら頭が下がります。

五階の事務局に清水前会長のデスクがあり、式後、ご遺族の二人はそちらに向かわれました。

加藤充洋 (S 五六 第一社)



写真左より ご子息、江田茗溪会理事長、奥様、松村筑波大学副学長、西川茗溪会副理事長

叙勲おめでとうございます

川口千代氏 (s36 教体) 瑞宝中授賞
本間房雄氏 (s41 教体) 瑞双章

会員訃報

*昨年度総会以降

吉堀菊雄氏 (s26 文三)
鈴木力英氏 (s26 教大体)
木谷要治氏 (s29 教大動)
櫻井義英氏 (s29 教大西)
石岡康男氏 (s30 教大西)
村田良夫氏 (s31 教修物)
吉濱 晋氏 (s36 教大体)
中嶋秋夫氏 (s40 教大農)
清水進一氏 (s43 教大教)
稲垣正浩氏 (s44 教博教)
大柳茂樹氏 (s52 教大教)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

◆6 回目の若手交流会を開きます

以下のように、神奈川茗溪会若手交流会を開きます。平成卒業(修了)の方々のご参加をお待ちしています。

日時 11月18日(土) 18時より
会場 大陸(横浜スカイビル 11F)
会費 4,000円(当日もらいます)
参加申込みは、若手交流会発起人まで。
email: wakate@kanagawa-meikei.org



合田ご夫妻の紫峰ちゃん。交流会に溶け込んで、あいさつもすっかりできました。

○住所変更や不明会員の情報などありましたら、事務局または地区委員までご連絡下さい。

事務局長	加藤 充洋 (s56 第一社)	090-1618-6152 katosen.nedoved@icloud.com
川崎地区	西村 宗一郎 (s51 教大植) 南 敏章 (s52 教大教)	045-362-7010 045-945-2086
横浜地区	佐々木 悦子 (s46 教大体) 望月 正大 (s51 教大教)	045-784-0670 045-812-0281
横三・湘鎌地区	鈴木 彰 (s49 教大地) 瀬木 明 (s52 教大応数)	0467-52-5354 090-1040-3612
平奈・西湘地区	細谷 俊一 (s47 教大生化工) 山田 和彦 (s53 教大農経)	0465-77-2046 0462-88-1504
北相地区	大島 恵子 (s46 教大植) 本木 幹雄 (s50 教大健)	042-715-0317 090-3817-3402

広告を載せませんか?

総会前に事務局の打合せが恒例となっております。今年は六月二四日に厚木で行われました。

話題は収支の先行きに及び、このままだと会費値上げに行きつくという懸念が示されました。支出を圧迫しているのは年二回発行される会報で、印刷費・発送費に封筒作製費も加わります。年一回の発行にという意見に対し、前会長の意向を尊重したいという矢野会長の思いもあり、現行で行くこととしました。議論の中で、ネット配信など様々な案が出ました。広告を募集してみてもいいというのも、その一つでした。発行部数一〇〇〇部以上、しかも本部のホームページに常時掲載されるので、効果は大いに期待できる。試しに呼びかけてみようということになりました。左の見本のようなイメージです。いかがでしょうか?

AE えびあや 検索

AE 海老名・磯瀬法律事務所
弁護士 中道 徹 (神奈川県弁護士会)

お気軽にお問合せください!

046-205-3780

〒243-0432 海老名市中央1-8-3 えびすビル4階

親身に対応します

広告サイズ、上の見本を標準といたします。
見本を1枠とし、1枠 5,000円といたします。
申込先(問合せ先) 事務局長 加藤充洋